

”総合知“の先端大学院

京都大学 大学院

# 総合生存学館

後期3年次編入学

3つのコース

サステナビリティ総合知コース

ウェルビーイング総合知コース

フロンティア開発総合知コース



世界で活躍するための

実践力、交渉力、課題解決力

ビジネスパーソンとして必要な力を

兼ね備えた博士人材の育成



京都大学  
KYOTO UNIVERSITY

# 【総合生存学館 後期3年次編入学】

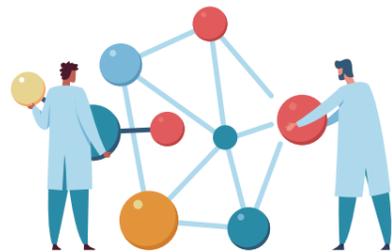
# 働くあなたにぴったりの研究環境が整う先端大学院

総合生存学館では、様々な分野を専門とする研究者が、京都大学に所属する他の研究科や研究所の研究者と連携しながら、学生と共に日々困難な研究に取り組んでいます。総合生存学館で行う研究テーマは多岐にわたり、学生が取り組みたい研究テーマについて、学館教員がサポートしながら、様々な角度からアプローチする研究計画を作り上げます。研究実施にあたっては、京都大学に所属する数多くの研究者から指導・助言を受けることが可能です。(研究内容や研究者の状況に応じた人選、事前のマッチングが必要になります。)



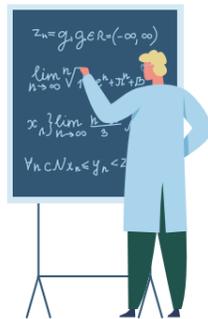
## 課題に直面する世界の現場で、 ビジネスパーソンとして活躍できるだけの 実践力を高め、見識を深めていきたい

世界で活躍するビジネスパーソンにとって、博士学位の保持はグローバルスタンダードと言われています。まだまだ博士学位保持者の少ない日本経済界において、学位取得を目指す方を総合生存学館は全力で応援します。**ご自身が研究したいテーマに沿って、かつ、働きながらも学位取得を目指すよう研究計画を策定し、3年間の学位取得を目指していただけます。**



## 専門分野とは異なる学問領域の知識や 研究手法を身につけ、研究を深化させたい

修士の学位は取得しているものの、自身の専門を実社会で活かすことに限界を感じている方、修士課程とは異なるアプローチで自身の専門力を発展させたいと感じている方など、総合生存学館では分野横断研究を基本に、より実践的な研究を行っていただけます。



## 社員研修・教育の一環として、勤務と通学を 両立しながら博士学位を取得させたい

社員教育・研修の一環として、企業と学館との協議により研究テーマと3年間の研究計画を策定し、学位取得を目指すことも可能です。また、学館と企業が共同研究を実施し、学館教員と企業研究者と研究体制を構築したうえで、当該企業から学館に入学した学生も共同研究に参画して研究を行い、博士学位の取得につなげることも可能です。

## 総合生存学とは

従来の大学院では、大学院生は、個別の学問分野を研究する教員のもとで、教員の研究室の一員として、教員の研究テーマに近いテーマを研究することによって、その学問分野の発展に寄与してきました。このような方法が有効であることは、これまでの膨大な研究成果によって実証されています。

一方で、個別の学問分野では対応が難しい複合的な問題が顕在化してきたことを踏まえ、総合生存学館では、新しい複合的な問題に興味を持つ学生が自ら研究テーマを提案し、異なる学問分野を研究する複数の教員との協働によって研究を遂行し、その研究成果を社会に実装する新しい学問「総合生存学」を提唱しました。

総合生存学は、地球や生物の歴史、人類史や文明史に学び、教訓を得て、人類と地球社会が生き延びる方策を模索する学術であり、その研究対象は多岐にわたります。個人から地域、経済界、国家や地球システム・地球社会に至る様々なレベルにおいて現代社会が抱える複合化した課題に取り組み、その解決を目指す実践の学であり、発展深化する一方で、細分化された個別学術の知識・智慧を生存知として実践の場で活かすために、これらの再編と再構成を通じて統合し、構造化するための学術体系です。



## 特色ある教育

### 社会人編入生に向けリカレント教育科目を 個別に調整

本学には18の研究科が様々な専門科目を開講していますが、自身の研究にマッチした科目を見つけることは困難な場合があります。学館では、社会人編入生のニーズに応じたリカレント教育科目を個別に調整して学び直しのサポートをします。

### 武者修行・PBR(社会実践コース)

社会課題が生じている現場で実践的に活用できる知識と経験を習得するため、「武者修行」と称して国際実践活動に取り組みます。世界視点での自らの位置を見定め、国際的リーダーとしての意識と責任感及び突破力を一体的に育成することを目的としています。また国際的に通用する総合力、社会性の育成、リーダーシップ能力の増進を図ります。

### 産官連携特別セミナー「熟議」

社会の様々なセクターで活躍しているトップリーダーと徹底的な議論を行うセミナーです。実社会の様々な課題に関するディベートなどを行うことにより、問題意識の育成と深掘りを行うとともに、実社会で必要となる多角的な視野、論理的思考力、コミュニケーション能力などの向上を図ります。国際機関、行政機関、企業、NGOなど様々な分野からのトップリーダーを招へいます。

### 複合型研究会

総合生存学館では、様々な社会課題に対応した分野横断型の複合型研究会を開催しており、学生は指導教員の研究会以外のいずれの研究会にも自由に参加できます。また、全体を俯瞰する「総合生存学研究会」も全教員・全学館生参加のもと実施しています。

# にぴったりの研究環境が整う先端大学院

## 総合生存学館の特色

総合生存学館では、総合知を実践するためのアプローチや方法論を体系的に学べるよう、**サステナビリティ** **ウェルビーイング** **フロンティア開発** という3つのコースを設置しています。このプログラムは、総合生存学を深く探求するための確固たる基盤ともなる学びの場であり、編入学した学生もいずれかのコースを履修し、自身の研究テーマを新たな視点から再定義し、地球規模の課題に挑む力を養います。

### ■ サステナビリティ総合知コース

本コースでは、カーボンニュートラルで持続可能な社会の実現を目指し、環境問題に対する総合的な視点と解決力を養います。具体的には、国際情勢や経済、資源問題といった多角的な視野を持ちながら、現在直面する環境課題に取り組む知見を身につけます。また、サステナビリティという複雑な構造を深く理解し、文系・理系の枠を超えた分野横断的な学術研究を推進するための基盤を提供します。このコースを通じて、総合知の基礎力を習得し、未来の環境問題解決に貢献できる広い視野と実践力を身につけることを目指します。

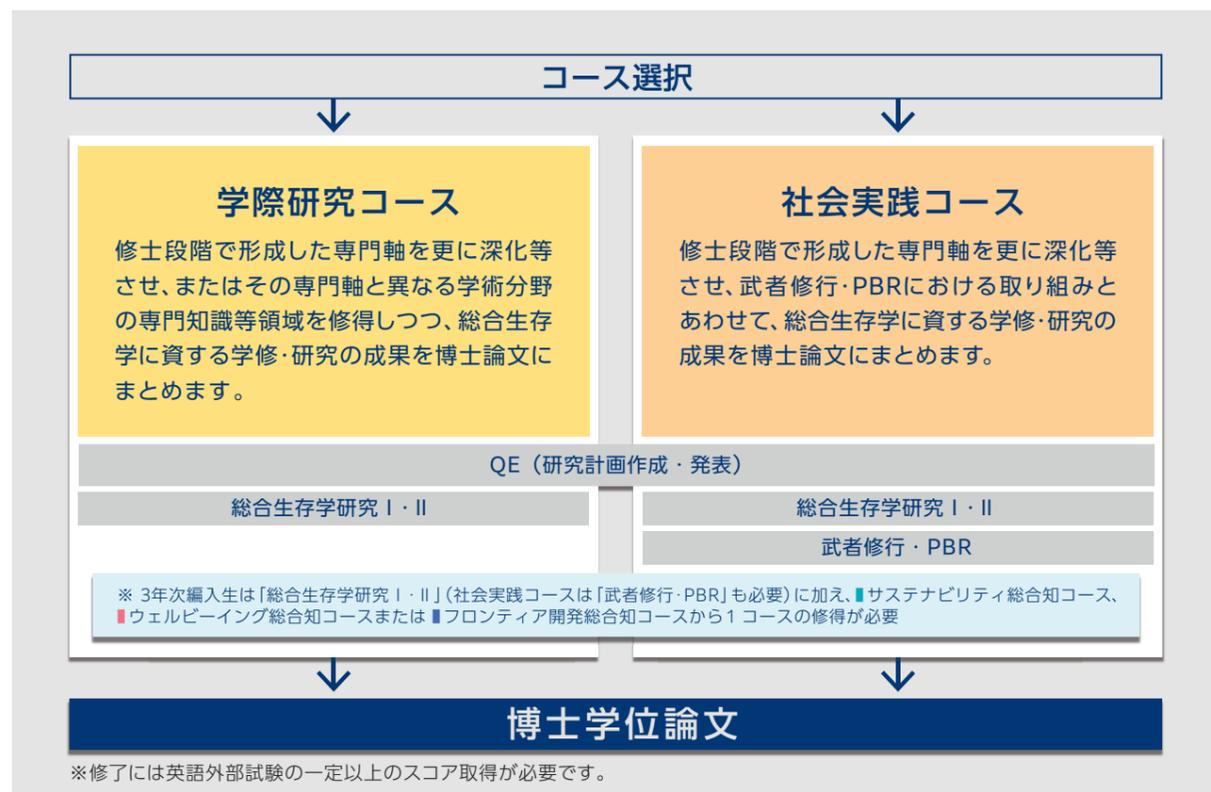
### ■ ウェルビーイング総合知コース

本コースでは、ウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に良好な状態)の社会的背景を理解し、実践的な問題解決力を養います。人文・社会科学と自然科学の視点から基礎知見を学び、総合知の方法論や分野横断的な研究手法を習得することで、地球規模の課題に柔軟かつ効果的に対応する力を身につけます。

### ■ フロンティア開発総合知コース

本コースでは、宇宙開発(月・火星の基地建設や資源探索)と国際開発(途上国支援、平和構築など)をテーマに、課題解決に必要な総合知の基礎力と実践力を養います。受講者は、いずれかの分野に焦点を当てつつ学際的な視点を身につけ、地球規模の課題に対応する幅広い視野と実践力を培います。

後期3年は「総合学術」の学位取得に向けた「総合」の取り組みを発展させる期間です。編入学した学生も、個々の希望に合わせて、学修・研究の成果を博士論文にまとめるためのコース「学際研究コース」と「社会実践コース」のいずれか1つを選択します。



## 講義履修のサポート

3年次編入生は、入学後、博士論文執筆に向けた研究遂行に加え、3つの総合知コースの中からいずれか1つのコースを選択し、4科目8単位以上の講義の履修・修得が必要です。働きながらの受講を可能とするため可能な限りサポートします。

入学前に科目等履修生として受講した科目等については  
入学後に既修得単位として認定可能

毎回の授業に対面で出席できない社会人学生に配慮して、  
オンラインで受講できる環境を整備

## 一人ひとりに合わせた研究環境を整備

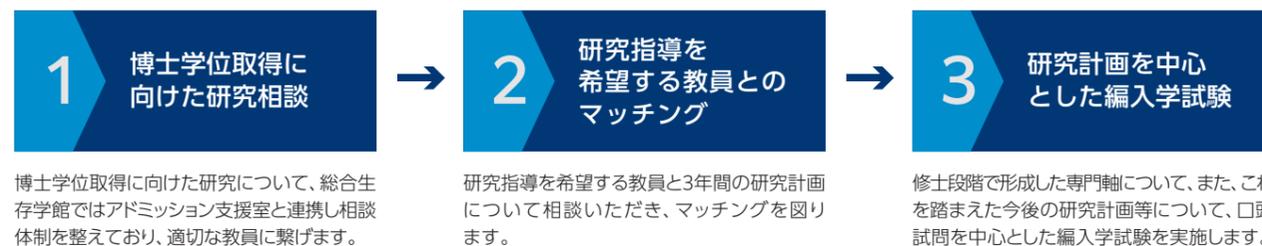
日々の研究については、毎日の研究指導を基本としつつも、就業しながら研究指導が受けられるよう研究テーマ・研究計画を固め、通学可能な日を指導教員と調整しながら遂行します。

## 分野横断研究を実践する複数指導教員制度

様々な分野の基礎を習得し、より広い視野から課題解決の方法論を研究することができるように、総合生存学館の教員をはじめ、学内他研究科や研究所の教員からの協力を得て、複数の指導教員体制を構築し、学生の教育研究を支えます。入学が決まると、学生の希望や専門分野、研究計画を考慮してまず一人の主旨導教員を決定します。さらに、その主旨導教員と相談しながら、研究を総合学術として完成させるために必要となる異分野の副指導教員を決定します。その際、必要に応じて他研究科等の教員へ研究指導委託することもあります。

## 入学までの流れ

総合生存学館では、学位取得に向けた研究計画の策定・指導教員とのマッチングをサポートします。





京都大学  
KYOTO UNIVERSITY

募集要項(第3年次編入学)はこちら

第3年次編入学の詳細は右の二次元バーコードからご確認ください。



京都大学 大学院 総合生存学館

京都市左京区吉田中阿達町1 東一条館 〒606-8306 TEL:075-762-2001  
MAIL:info.shishukan@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp URL:https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/

